

# WG活動計画概要：交通まちなか再開発WG

## 一名護市の交通／まちなか再開発分野における課題とToBe像ー

As-Is

内部環境	Strengths (強み)	<ul style="list-style-type: none"><li>沖縄県北部地域の拠点都市として就労・就学及び消費の中心地として機能している</li><li>高速道路の終点があり、県中南部からの観光・移動の拠点となっている</li></ul>
	Weaknesses (弱み)	<ul style="list-style-type: none"><li>宇茂佐、為又等の用途地域外での開発が進み、中心市街地の人口が減少傾向にある</li><li>中心市街地から距離がある場所にバスターミナルが立地している</li><li>中心市街地の駐車場不足等により、観光客を市街地に取り込めていない</li><li>近隣市町村の大型イベント時に、交通渋滞が発生する</li></ul>
外部環境	Opportunities (機会)	<ul style="list-style-type: none"><li>ウォカブルなまちづくりへの機運が高まっている</li><li>2025年には新規テーマパークが開園予定であり、名護市への集客効果が期待できる</li><li>MaaSやスマートシティ等といったまちづくりに活用できるデジタル技術の実証・社会実装が進んでいる</li></ul>
	Threats (脅威)	<ul style="list-style-type: none"><li>企業・行政・市民の活動において環境・社会への配慮が一層求められる</li><li>地球温暖化により、台風・大雨の発生等による災害や熱中症等の健康被害が相次いでいる</li></ul>

ToBe

コンセプト

誰でも・いつでもストレスなく名護の市街地に訪れることができる  
市民・観光客が調和する“まちなか”（仮）

名護市の  
関連計画で  
整理された内容

- ① 豊かな自然と魅力ある都市が調和したしなやかで持続可能なまち・名護
- ② 持続可能な公共交通体系の実現

※①第2次都市計画マスタープラン／②名護市地域公共交通計画

目指す状態

市民



- ✓ 交通渋滞に悩まされことなく就業・就学、買い物等がストレスなく生活できる状態

子ども



- ✓ 安心・安全にまちなかを歩ける状態

高齢者



- ✓ 公共交通機関で歩いて市街地へ訪れることができる状態

障がい者



- ✓ バリア・ストレスを感じることなく、まちなかへ訪れることができる状態

観光客



- ✓ 初めて訪れても快適にまちなかを巡り、滞在することができる状態